

環境分科委員会のプロジェクト

北東アジア地域環境体験プログラム（富山県）

1 目的

本プロジェクトでは、自治体・経済界・学界が連携して、生徒に対して北東アジア地域における環境問題を直に体験（環境ボランティア活動）する機会を提供することによって、現状への認識を高めるとともに、国際環境協力に対する理解を深め、自ら考え行動できる人材を育成することを目的とする。

2 事業内容

(1) 実施時期 2008年8月21日（木）、22日（金）

(2) 実施場所 韓国忠清南道泰安郡

(3) 実施方法

- ・テーマ：自然環境保全
- ・環境体験：4か国・8自治体の青少年96名が共同環境保全活動として、2007年12月の原油タンカー事故で海外に漂着した油の除去活動を行った。
- ・各界連携：この活動を各界が連携して支援するため、学界からは事前講義の専門家や学生サポーターが派遣された。また、経済界からは専門家が派遣され、青少年に対する技術的なアドバイスや指導が行われた。
- ・活動報告：各参加自治体から日頃の活動報告が行われた。

(4) 参加者（4カ国8自治体の青少年96名）

富山県、遼寧省、黒龍江省、江蘇省、江原道、忠清南道、沿海地方、ハバロフスク地方

(5) 年間計画

8月：「北東アジア地域環境体験プログラム」の開催

2月：開催結果概要の翻訳、ホームページへの掲載



共同環境保全活動（油の除去作業）



共同環境保全活動（油の除去作業）

3 2009年度の実施計画

(1) 実施時期（予定） 2009年8月

(2) 実施場所（予定） 中国遼寧省瀋陽市